

世界自然遺産とは

人類共通のかけがえのない財産として、将来の世代に引き継いでいくべき宝物。それが世界遺産です。

世界遺産は「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」（世界遺産条約）に基づいて登録され、自然遺産、文化遺産、複合遺産の3種類があります。このうち、我が国での世界自然遺産には、現在、知床（北海道）、白神山地（青森県・秋田県）、屋久島（鹿児島県）、小笠原諸島（東京都）、奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島（鹿児島県、沖縄県）の5ヶ所が登録されています。

守ろう！世界自然遺産



車の運転に注意
Watch Out for Wildlife



危険生物に注意
Dangerous Animals in Area



ペット持ち込み禁止
No Pets



魚への餌付け禁止
Do Not Feed the Fish



動植物をとらない
Do Not Remove Animals or Plants



貝や魚を捕らない
Do Not Remove Shellfish or Fish



サンゴ踏み付け注意
Do Not Walk on Coral



ゴミを捨てない
Do Not Litter



キャンプ禁止
No Camping



火気厳禁
No Lighting Fires

日本の 世界自然遺産

奄美大島、徳之島、
沖縄島北部及び西表島

面 積：約67,000 ha
登録年：2021年

知 床 | 北海道
面 積：約71,100 ha
登録年：2005年

白神山地 | 青森県・秋田県
面 積：約17,000 ha
登録年：1993年

小笠原諸島 | 東京都
面 積：約7,900 ha
登録年：2011年

屋久島 | 鹿児島県
面 積：約10,700 ha
登録年：1993年

● 公式ホームページ

奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島 世界自然遺産
<http://kyushu.env.go.jp/okinawa/amami-okinawa/index.html>



● 事務所

環境省では4地域それぞれに事務所を配置し、
情報提供や普及啓発に取り組んでいます。

奄美野生生物保護センター

住所：鹿児島県大島郡大和村思勝551
TEL：0997-55-8620
<https://kyushu.env.go.jp/okinawa/awcc/>



奄美大島世界遺産センター

住所：鹿児島県奄美市住用町石原467-1
TEL：0997-69-2281
<https://amami-whcc.jp>



西表野生生物保護センター

住所：沖縄県八重山郡竹富町古見（番地なし）
TEL：0980-85-5581
<https://iwcc.jp/>



徳之島世界遺産センター

住所：鹿児島県大島郡徳之島町花徳字坂元2206番
TEL・HP：未定

ニューオープン
2024年12月（予定）

やんばる野生生物保護センター「ウフギー自然館」

住所：沖縄県国頭郡国頭村比地263-1
TEL：0980-50-1025
<https://www.ufugi-yambaru.com/>



やんばる世界遺産センター「ウフギー自然館」

住所：沖縄県国頭郡国頭村比地263-1
TEL・HP：未定

リニューアル
オープン

やんばる野生生物保護センター「ウフギー自然館」は、改修工事のため
2024年5月6日（月）～令和2025年7月頃まで閉館予定です。
リニューアルオープンの日程は決定次第HPなどお知らせします



環境省 沖縄奄美自然環境事務所

〒900-0022 沖縄県那覇市樋川1丁目15番15号 那覇第一地方合同庁舎1階
TEL.098-836-6400 FAX.098-836-6401

2019年11月発行
2024年3月改訂

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

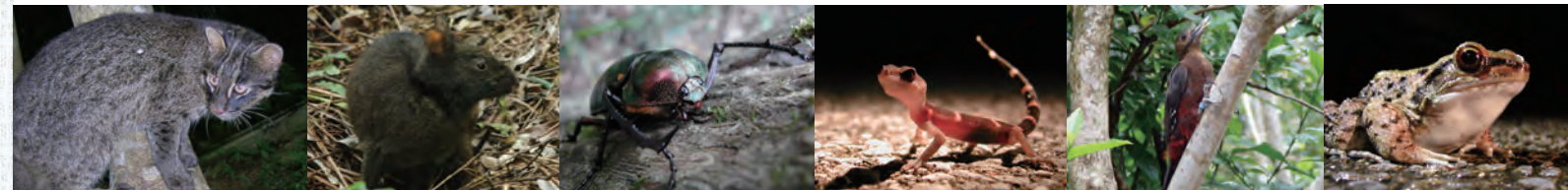


古紙・リサイクル紙配合率80%再生紙を使用

奄美大島、 徳之島、 沖縄島北部 及び西表島 世界自然遺産



奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島
世界自然遺産



独特の気候と地史



世界自然遺産である「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」は、北緯 24 度～30 度に位置する亜熱帯地域です。世界の亜熱帯地域のほとんどが砂漠や乾燥した草原であるのに対して、本地域は、黒潮と亜熱帯性高気圧の影響で温暖・湿潤な亜熱帯海洋性気候となるため、森林が成立しています。

また、本地域は 1,200 万年以上も昔にはユーラシア大陸の一部であり、その後の激しい地殻変動や海面変化により、ユーラシア大陸や日本本土との分離、近隣の島間での分離・結合を繰り返し、現在の島々になりました。



イリオモテヤマネコ



ヤエヤマセマルハコガメ

西表島

西表島には、古見岳 (469m) や御座岳 (420m) などの山々が連なり、原生状態に近い亜熱帯照葉樹林やマングローブ林、我が国最大規模のサンゴ礁 (石西礁湖) を有するなど、手つかずの自然が残されています。山地は雲霧帯を有するため、ランやシダなどの着生植物が多く、イリオモテヤマネコ、ヤエヤマセマルハコガメなどの八重山固有の生物が生息しています。



カンムリワシ

希少種が多く見られる代表的な地域

本地域は豊かな亜熱帯の照葉樹林やマングローブ林などの多様な自然環境を有し、IUCN レッドリスト掲載の絶滅危惧種 95 種を含む世界的に独特で重要な絶滅危惧種や固有種の生息・生育地となっています。日本全国で確認されている絶滅危惧種のうち、本地域に見られる種の割合をみると、維管束植物で 55%、陸生哺乳類で 38%、両生類で 60%、昆虫類で 56%となっており、本地域が生物多様性の保全にとって極めて重要な地域であることが分かります。



西表島

生命の息吹を感じる豊かな森 生物多様性の島々

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」は、2021年夏に世界自然遺産に登録されました――



徳之島

奄美大島

鹿児島県

沖縄県

沖縄島

沖縄島北部

徳之島

生物の宝庫

本地域には、ここで見られない生物が数多く分布しています。特に、昔は広く大陸などにも分布していた生物が島々に隔離されたことで、大陸にいた共通の祖先が絶滅した後も昔ながらの形態をとどめながら生き残ってきた「遺存固有種」や、各々の島の環境に適応するよう独自の進化を遂げた「新固有種」の存在は、地史を反映した生物進化の過程を示す顕著な見本となっています。



ヤンバルクイナ



イリオモテヤマネコ



クロイワトカゲモドキ



アマミノクロウサギ



オキナワイシカワガエル



ケナガネズミ

奄美大島



ルリカケス



アマミトゲネズミ



オットンガエル

奄美大島の中央部・南部では、湯湾岳 (694m) や油井岳 (484m) などの山塊から海域まで豊かな亜熱帯照葉樹林が連続しています。これらの森林では、アマミノクロウサギ、アマミトゲネズミ、ルリカケス、オットンガエルなどの遺存固有種やアマミヤマシギなどの希少種の生息地となっています。また、役勝川や河内川などの河川にはリュウキュウアユが生息しています。



アマミノクロウサギ



オビトカゲモドキ

徳之島

徳之島は、北部の天城岳 (533m) や中央部の井之川岳 (645m) から犬田布岳 (417m) にかけて広がる山塊が豊かな亜熱帯照葉樹林に覆われており、アマミノクロウサギをはじめ、オビトカゲモドキやトクノシマトゲネズミなどの遺存固有種の生息地となっています。



ヤンバルテナゴコガネ



ノグチゲラ



ナミエガエル



オキナワセッコク



沖縄島北部

沖縄島北部 (やんばる) の与那覇岳 (503m) や西銘岳 (420m) が連なる山塊では、豊かな亜熱帯照葉樹林が広がっています。これらの森林には、空を飛べないヤンバルクイナや木に穴を掘り営巣するノグチゲラ、樹上で活動し木のウロを寝床にするケナガネズミ、一生のほとんどを樹洞で生活するヤンバルテナゴコガネなど、固有の生物が数多く生息しています。